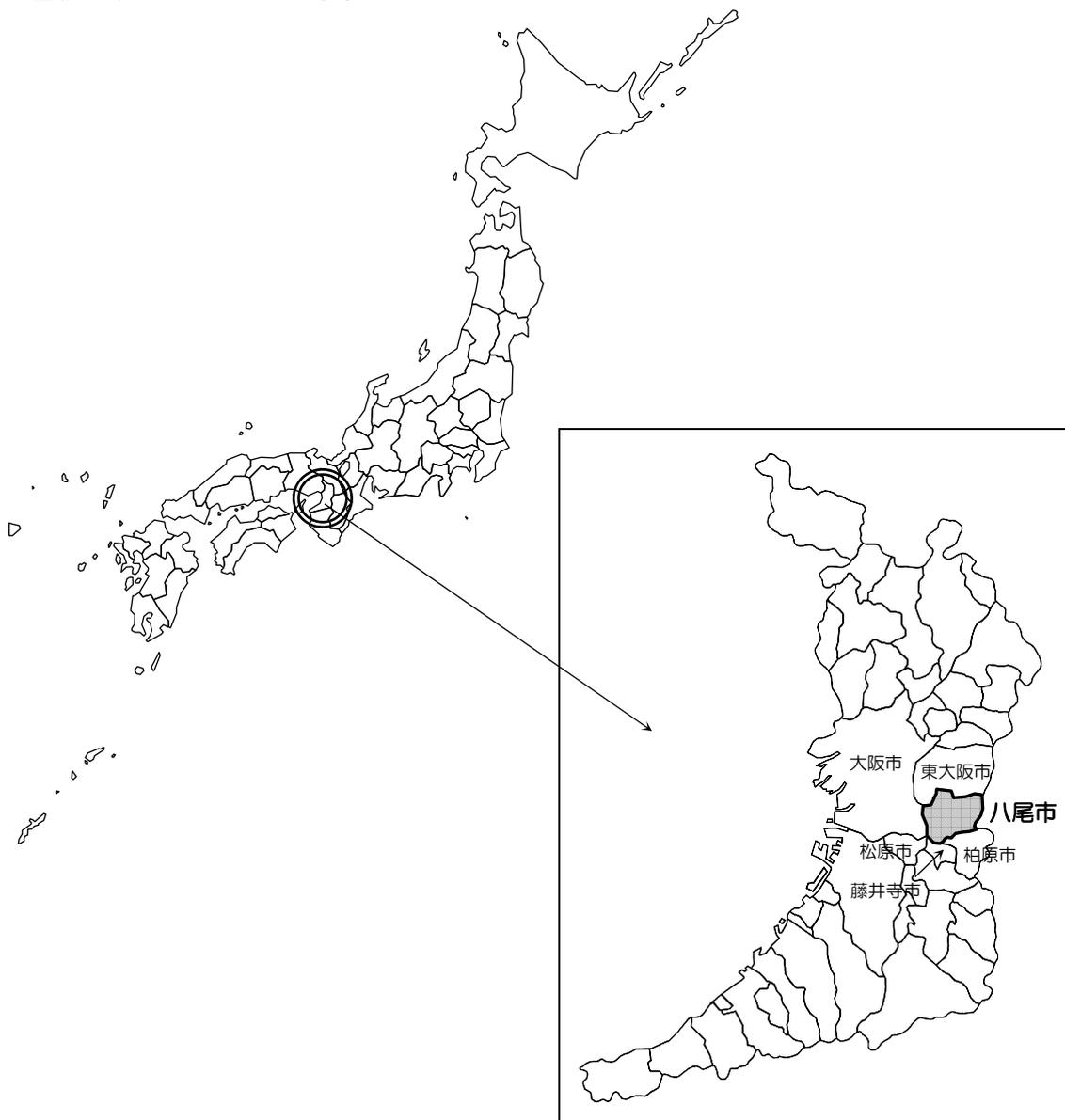


## 1. 八尾市の現況と課題

### (1) 地勢

八尾市は大阪府の中央部の東寄りに位置し、西は大阪市に、北は東大阪市に、南は大和川を境として松原、藤井寺の両市と東南部の柏原市に、東は信貴生駒山脈を境にして奈良県に接しています。

また、中心位置（市役所本庁舎）は、東経 135 度 36 分、北緯 34 度 37 分で、市域面積は、41.71km<sup>2</sup>です。



図：八尾市の位置

## (2) 総人口と高齢者数、障害者数の変動

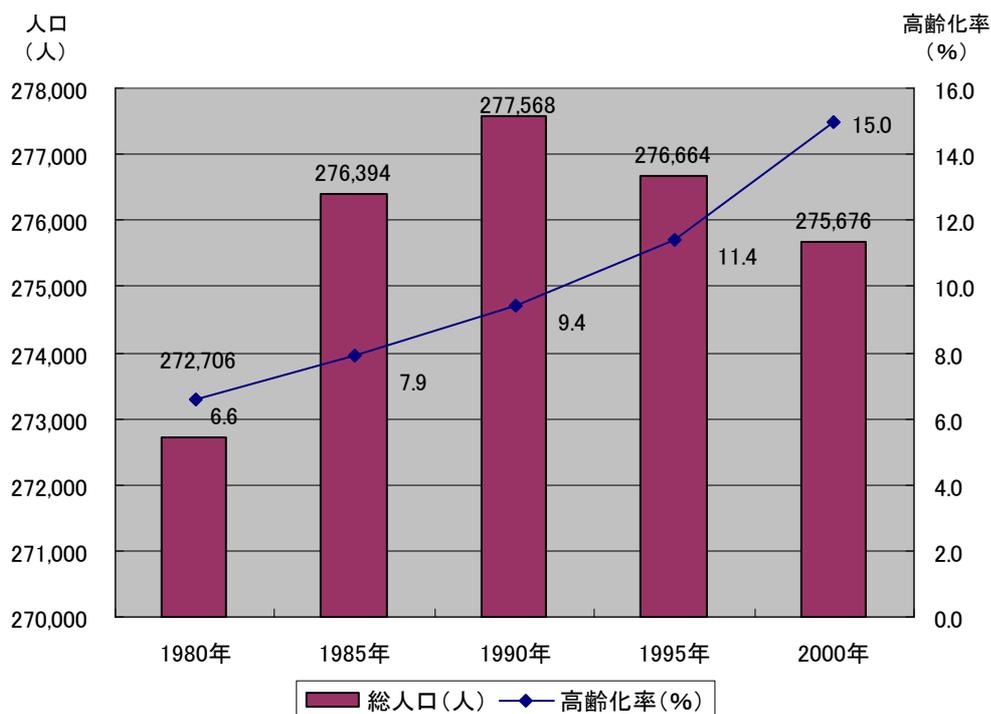
八尾市においては、平成2年(1990年)以降、平成12年(2000年)までに総人口が約2,000人減少しています。

しかし、その一方で、総人口に対する高齢者(65歳以上)の人口の割合(高齢化率)をみると、昭和55年(1980年)の6.6%に対して、平成12年(2000年)では15.0%と2倍以上になっていることから、全国的な傾向と同様に、急激な高齢化が進んでいます。

	1980年	1985年	1990年	1995年	2000年
総人口(人)	272,706	276,394	277,568	276,664	275,676
65歳以上(人)	18,121	21,361	25,719	31,608	41,473
高齢化率(%)	6.6	7.7	9.3	11.4	15.0

\*) 国勢調査より数値を抜粋しています。

\*) 2000年は、年度末の数値を用いています。



図：八尾市の総人口と高齢化率

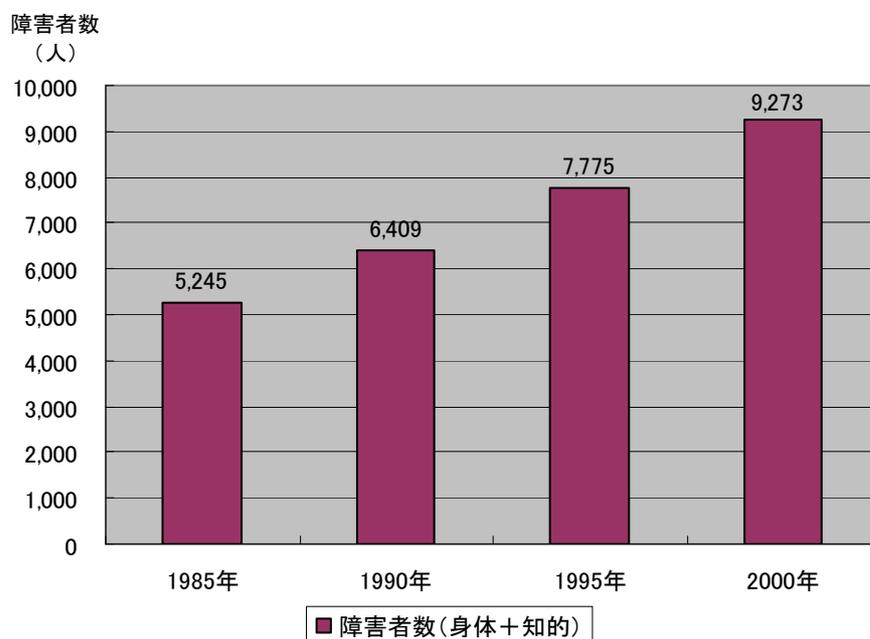
つぎに、障害者数（身体及び知的障害者で手帳所持者数の合計）についてみると、年々ほぼ一定の割合で増加しており、昭和60年（1985年）では5,245人でしたが、平成12年（2000年）では9,273人となっています。

一方、総人口が減少していることから、総人口に対する障害者の占める割合は年々高くなってきており、平成12年（2000年）では八尾市の人口の3.4%を占めています。こうした傾向は、今後も続くことが予測されています。

	1985年	1990年	1995年	2000年
総人口(人)	276,394	277,568	276,664	275,676
身体障害者数(人)	4,533	5,568	6,740	8,091
知的障害者数(人)	712	841	1,035	1,182
障害者数(身体+知的)	5,245	6,409	7,775	9,273
総人口に対する 障害者の占める割合(%)	1.9	2.3	2.8	3.4

\*) 市統計調査より数値を抜粋しています。

\*) 2000年は、年度末の数値を用いています。



図：八尾市の障害者数の変動

### (3) 公共交通機関の交通特性

#### <鉄道>

八尾市においては、市内北側を近鉄大阪線、近鉄信貴線が走り、市域を東西に横断しています。また、それに平行して市内中央を JR 関西本線が、市内南側を地下鉄谷町線がそれぞれ走っています。

これら市域を走る各路線には、以下に記す 11 駅が位置しています。

	路線		一日の平均乗降客数 5,000 人/日以上	一日の平均乗降客数 5,000 人/日以下
	鉄道駅	近鉄	大阪線	久宝寺口駅、八尾駅、 河内山本駅、高安駅、 恩智駅
信貴線				服部川駅、信貴山口駅
JR		関西本線	久宝寺駅、八尾駅、 志紀駅	
地下鉄		谷町線	八尾南駅	

\*) この他に、近鉄西信貴ケーブル線「高安山駅」(乗降客数 136 人/日)があります。

これら各駅の位置関係をみると、駅を中心とした徒歩圏(500m~1km)は、隣接する駅の徒歩圏と重複するケースが多く、近距離に位置しています。

また、一日平均の乗降客数をみると、特定旅客施設の要件となる 5,000 人以上の駅は 9 駅ありますが、そのうち、「近鉄八尾駅」が 29,726 (人/日)と最も多く、次いで「近鉄河内山本駅」が 23,104 (人/日)、「JR 八尾駅」が 14,724 (人/日)という順になっています。(数値データ:「平成 11 年都市交通年報」より算出)

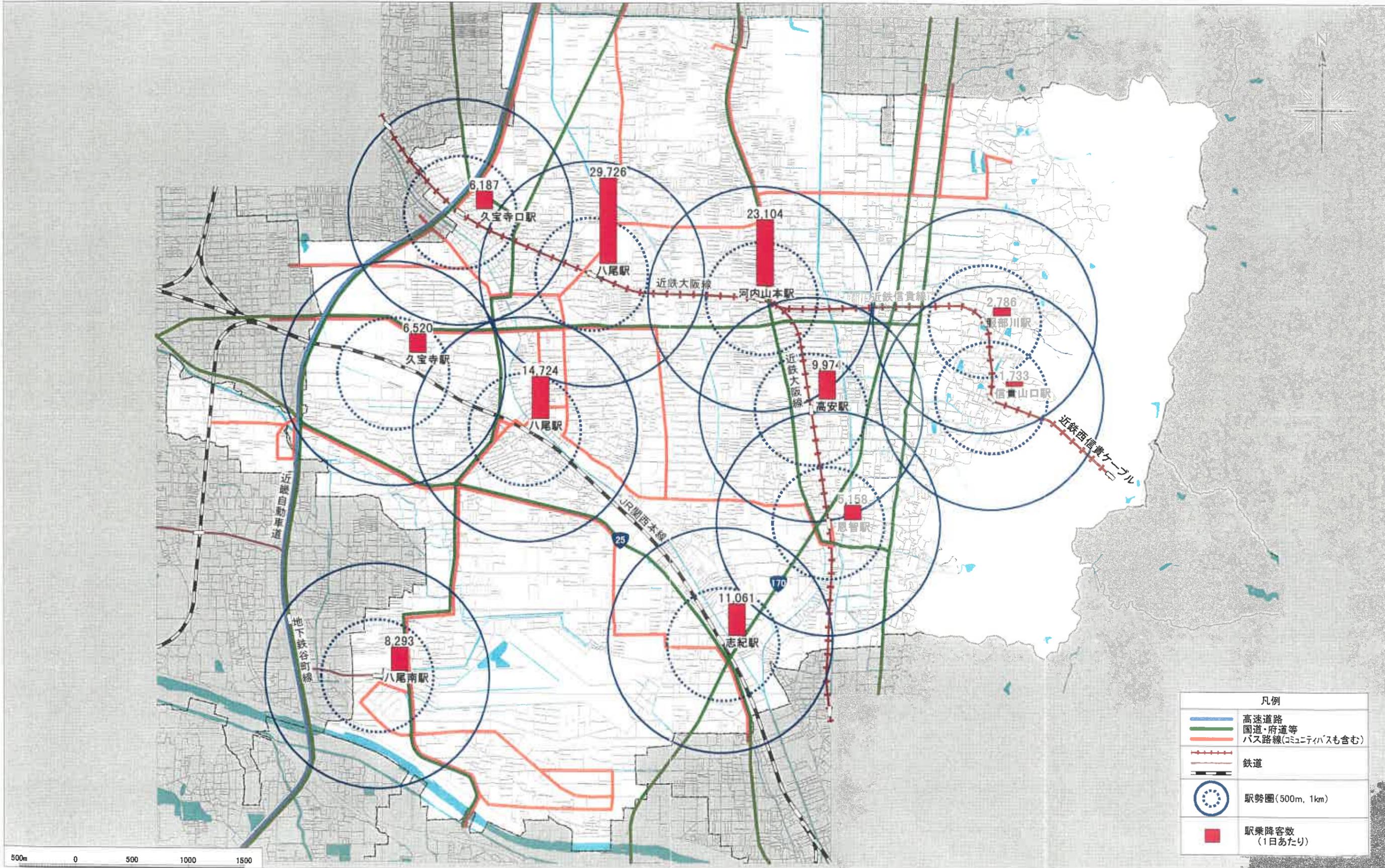
#### <バス>

近鉄バス(株)および大阪市営バスが運行しているバス路線についてみると、近鉄八尾駅を中心にして、放射状に路線網が形成され、複数の市を連絡する広域的な運行形態となっています。

また、鉄道の路線網の課題である市内南北への移動を補完する機能を担っています。

さらに、路線バスとならんで、市域の交通不便地域の解消と公共施設へのアクセスを確保する「コミュニティバス『愛あいバス』」の運行が実施されています。

# 公共交通機関の交通特性



**（４）今後の動向＝公共交通機関の充実＝**

八尾市では、公共交通機関の充実を図る上で、沿道のまちづくりに寄与するため、大阪外環状線鉄道（新大阪駅～久宝寺駅）の整備を推進するほか、大阪モノレールの南伸、地下鉄の延伸などの検討を行っています。一方、路線バスについてみると、近鉄バス（株）ではワンステップバスの導入を進めており、平成 13 年（2001 年）12 月現在の保有車両 305 台のうち、低床バスの割合が 24.3%となっています。大阪市営バスでは、ノンステップバス、リフト付きバスの導入を進めており、平成 14 年（2002 年）2 月現在の保有車両 922 台のうち、低床バスなどの割合が 20.7%となっています。

また、八尾市では市民のコミュニティおよび社会参加の促進を図るために、コミュニティバスの運行拡充を検討しており、市民、公共交通事業者、行政が連携をとりながら、市民の日常生活を支える公共交通の体系をともにつくりあげる取り組みを行っています。

**<近鉄バス（株）>**

- ・平成 13 年（2001 年）12 月現在の保有車両：305 台
- ・低床バスなどの割合： 24.3%（74/305 台）

		年度	～H12	H13	H14	H15
種別						
大型 中型	ワンステップバス		33 台	33 台	38 台予定	31 台予定
	ノンステップバス		1 台	0	予定なし	予定なし
小型	リフト付きバス		1 台	6 台	4 台予定	3 台予定
	ノンステップバス		0	0	4 台	0
計			35 台	39 台	46 台	34 台
累計 (交通バリアフリー法適合車両)			35 台 (1 台)	74 台 (40 台)	120 台 (86 台)	154 台 (120 台)

\*）ただし、14 年度以降の導入予定については、変更する場合があります。

**<大阪市営バス>**

- ・平成 14 年（2002 年）2 月現在の保有車両：922 台
- ・低床バスなどの割合： 20.7%（191/922 台）

		年度	～H12	H13	H14	H15
種別						
大型ノンステップバス			41 台	0	導入予定車両については、 公表なし	
中型ノンステップバス			—	11 台		
小型ノンステップバス			20 台	50 台		
リフト付きバス			69 台	0		
計			130 台	61 台	—	—
累計			130 台	191 台	—	—

写真：ノンステップバス  
(大阪市営バス)

乗車口から、そのまま段差なく、バス車内に乗車します。



写真：ワンステップバス  
(近鉄バス(株))

乗車口から、スロープを利用しバス車内に乗車します。  
(スロープの出し入れは手動)



写真：コミュニティバス  
(八尾市)

鉄道・バスの空白地帯を運行するリフト付きの小型バス。現在、運行拡充を検討しています。



## (5) 市内鉄道 11 駅およびその周辺地区の現況

### <市域の現況>

八尾市の発展は、近鉄や JR の開通により、その沿線を中心に市街化が進行しており、現在八尾市は、近鉄八尾駅を中心核とする一極集中型の都市構造が形成されています。

今後、JR 久宝寺駅周辺の大坂竜華都市拠点地区および、地下鉄八尾南駅周辺においては、新たな都市核の形成が位置づけられており、各都市核の機能分担と相互連携が図られた多極型都市構想への転換を促進しています。

### <駅舎の現況>

八尾市内に位置する 11 駅の駅舎内における施設設備の状況をみると、エレベーターやエスカレーターの設置により、垂直方向の移動のしやすさが確保されている駅は、JR 久宝寺駅、近鉄八尾駅、地下鉄八尾南駅の 3 駅となっています。また、エレベーターやエスカレーターの設置が一部のみに限られて、連続的な移動のしやすさが確保されていない駅は、近鉄河内山本駅、近鉄高安駅となっています。その他の駅については、平面駅である JR 八尾駅、近鉄服部川駅、近鉄信貴山口駅を除いて、エレベーターやエスカレーターが設置されておらず、バリアフリー整備が行き届いていないのが現状です。

通し番号	路線	駅名	利用者状況			駅舎					
			乗降客数*1) (人/日)	定期券利用者 (人)	定期券利用者 の割合(%)	平面駅	エレベーター		エスカレーター		身体障害者 対応型トイレ
							道路→ 改札	改札→ ホーム	道路→ 改札	改札→ ホーム	
1	JR	久宝寺	6,520	4,328	66.4%		○	○	×	○	○
2		八尾	14,724	10,464	71.1%	○	—	—	—	—	
3		志紀	11,061	7,908	71.5%		×	×	×	×	○
4	近鉄	久宝寺口	6,187	2,765	44.7%		×	×	×	×	
5		八尾	29,726	12,554	42.2%		○*2)		○	○	○
6		河内山本	23,104	10,763	46.6%		○	×	×	○*3)	○
7		高安	9,974	5,448	54.6%		×	×	×	○*4)	○
8		恩智	5,158	2,417	46.9%		×	×	×	×	
9		服部川	2,786	1,305	46.8%	○	—	—	—	—	
10		信貴山口	1,733	731	42.2%	○	—	—	—	—	
11	地下鉄	八尾南	8,293	3,310	39.9%		×	○	×	○	○

\*1) 乗降客数は、「平成 11 年都市交通年報」より、数値を抜粋した。

\*2) エレベーターが駅構外に設置され、インターホンによる駅員対応。

\*3) 車椅子対応型エスカレーターの設置あり。(上りホームのみ)

\*4) 車椅子対応型エスカレーターの設置あり。(下りホームのみ)

図：市内鉄道 11 駅の現況